

令和8年度 学校経営計画書

学校番号	8	学校名	静岡県立沼津特別支援学校愛鷹分校	校長名	若杉 友美
------	---	-----	------------------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

**共に育てる 自立と輝き** ～生徒の能力を最大限伸ばし、個々のよりよい自立と輝きを支援する～

- ・働くことへの夢と喜びを見出し、意欲を育て、実現に向かって前向きに進むことができること
- ・高等学校や地域との連携・協働しながら共生社会の実現を進めること
- ・誰もが互いに尊重し合い、互いの命を大切に、安全に安心して過ごすこと
- ・教職員にとって、健康で、安全に、仕事にやりがいをもてる、働きやすいこと

(2) 目標具現化の柱

- ア お互いを大切に、安全に安心して学習できる、居心地の良い学校 (安全)
- イ 生徒の強みや持ち味を理解し、夢に近づくための指導及び支援ができる学校 (専門)
- ウ 地域や関係機関等と確かなつながりを持ち、共生社会の実現に貢献する学校 (連携)
- エ アサーティブに伝えあい、ワークライフバランスの下、教職員が常に学び続ける学校 (チーム)

2 本年度の取組 (重点目標はゴシック体で記載)

	取組目標	達成方法 (取組手段)	成果目標	担当部署
安全	生徒の主体性と人権を尊重した教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の職員人権目標の周知と実行</li> <li>・学年部会での人権研修目標の振り返り</li> <li>・人権に配慮した態度や言葉遣いの徹底 (特に「さんづけ」を重点)</li> <li>・生徒の「挑戦したい」気持ちの醸成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒や保護者が学校は安心して通える場所だと感じている。</li> <li>・教員は互いに人権を尊重する対応が取れていると感じている。</li> </ul>	生徒指導 学部
	命を守るための体制強化と行動力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故後やヒヤリハット時の正確かつ迅速な情報共有と再発防止策の検討</li> <li>・災害が起きた時の対応を考える授業・訓練の実施</li> <li>・個に応じた避難方法の想定とそれができるための指導</li> <li>・命を大切にするための行動を考える学習の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員・生徒が緊急時や発災時に (登下校、休み時間を含めて) どのように行動するか理解している。</li> <li>・生徒が自分自身を含む周りの人が大切な存在であると感じている。</li> </ul>	生徒指導 保健体育 学部
専門	生徒の強みを生かし、自己肯定感をはぐくむ指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修に基づく生成AIを用いた個別の指導計画の作成と活用</li> <li>・自立活動の「流れ図」を用いた生徒の実態把握</li> <li>・各教科等を合わせた指導の授業場面での、強みを生かした姿の把握</li> <li>・生徒理解を深め、授業力を高めるOODAループの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新書式の個別的教育支援計画と個別の指導計画を生徒及び保護者と作成し、活用している。</li> <li>・教員が「流れ図」を活用して生徒の実態を把握し、自立活動の学習内容に生かしている。</li> <li>・教員のOODAループ活用により、生徒が主体的に学ぶことができている。</li> </ul>	教務 研修・自立
	つながりのある支援と指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアパスポートのさらなる活用についての意見交換の充実</li> <li>・社会生活に向けて系統性を踏まえた3年間の学びの保障</li> <li>・教科部会における3年間の見通しのある年間指導計画の検討</li> <li>・BYODの活用について、成果と課題の共通理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒がキャリアパスポートを活用し、夢の実現に向けて自分の進路について考えたり、振り返ったりしている。</li> <li>・各教科等の学習の系統性や横断的な学習について見通し、年間指導計画を作成している。</li> <li>・生徒の実態に応じたBYODの活用について実践を共有し学習支援の充実に向けた成果と課題を教員間で共通理解している。</li> </ul>	教務 進路指導 情報学 部
連携	自立と輝きに向けた発信と協働の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会の応援による教育活動の充実と学校の地域貢献について周知の工夫</li> <li>・インスタグラムやホームページ等で学習の取組について発信</li> <li>・進路説明会や面談の在り方の検討に基づく、家庭と連携した進路指導の在り方の追究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者と職員が学校運営協議会の協力のもと、学校が地域で役割を果たしていることを理解している。</li> <li>・生徒の学習活動の発信に対し、保護者や地域からポジティブな反応 (いいね・コメント・直接の称賛等) が寄せられている。</li> <li>・保護者と進路指導の内容について共有している。</li> </ul>	管理職 情報 進路指導 学 部
	地域とのつながりのある教育実践や地域への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相互理解を深める沼津城北高校との共同学習の実施</li> <li>・作業学習とおとした学校の地域貢献の可視化と情報発信</li> <li>・地域の中に新たな交流や連携先の開拓と活動の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沼津城北高校等との共同学習や地域資源を生かした学習に生徒が意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・生徒がワーク工場の製品販売やワーク地域での作業により、地域とのつながりを深め、地域に貢献していると感じている。</li> </ul>	特別支援C0 情報 学 部
チーム	一人一人が持ち味を生かしあい、同じ目的に向かって高め合うチームの実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完全退庁時刻 (19:30) の実施</li> <li>・「沼特 (愛鷹) マインド」の浸透とチーム力アップ計画の遂行</li> <li>・経営計画実現への予算執行状況の共有と円滑な業務遂行のための協働</li> <li>・自分の強みを明確にした自己目標の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員は学部・学年・分掌で助け合い、円滑に業務を遂行し、チームで完全退庁時刻を順守している。</li> <li>・教員は自分の強みを職場で生かしていると感じている。</li> <li>・日々学び続けている職員が、生徒たちのために必要なことをアサーティブに伝え合っている。</li> </ul>	学年・分掌 学部 管理職 職員安全衛生 委員会